

令和2年6月19日

川崎市長 福田 紀彦 様

川崎商工会議所
会頭 草壁 悟 朗

川崎市臨海部ビジョンについて（要望）

平素、当商工会議所事業につきまして、格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、川崎市では、川崎市の「力強い産業都市づくり」の中心である臨海部が、産業拠点として世界の模範となることを目指して「臨海部ビジョン」を策定し、30年後を見据えた臨海部の将来像や、その実現に向けた戦略、取組の方向性が示されているとともに、直近10年以内に取り組む13のリーディングプロジェクトを設定しております。

リーディングプロジェクトにおいては、交通機能強化、新産業拠点形成等の事業基盤の価値向上に資するもの、人材育成、職住環境整備、企業活動見える化、災害対応力向上等の就労環境をサポートするもの、資産活用、投資促進等の事業環境を補完するもの等が推進項目とされております。

既に殿町地区においては、ライフサイエンス分野の国際戦略拠点「殿町キングスカイフロント」の形成や水素プロジェクト等が進み、新たな成長産業の芽が生まれつつあります。

また、南渡田地区をAI，IoTの新たな産業創造拠点として位置づけておりますが、「ものづくり」を中心とした既存産業との連携も期待できます。つきましては、次の項目につき特段の配慮をお願い申し上げます。

記

1. 臨海部ビジョンの効果を大手から中小企業まですべての立地企業に寄与させるため、南武支線の川崎駅直結化、東海道貨物支線の貨客併用化、新モビリティの導入など交通ネットワークの整備を検討いただきたい。
2. 南渡田地区を含め、臨海部の土地が有効に利活用され、ここに大手から中小企業、研究やベンチャー企業等、さまざまな新産業が集積するような拠点イメージの策定や、これを実現する基盤整備、規制緩和等について、川崎市が主体的に取り組んでいただきたい。

以 上